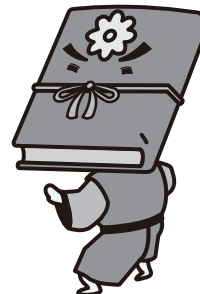


安倍首相
が大号令

“期限を区切って 憲法9条変えよ”

海外での武力行使を無制限に

安倍晋三首相が憲法9条1項・2項を残しつつ自衛隊を書き込む、オリンピック・パラリンピックの2020年に施行すると言い出しました。自衛隊を憲法で追認するだけにとどまりません。9条の歯止めをなくし、自衛隊を「殺し、殺される戦争」にさらに駆り立てる、大変危険な道です。



ポーケン師匠 ©カクサン部!

平和の9条が壊されます

2014年の集団的自衛権行使容認の閣議決定、2015年の安保法制=戦争法と日米新ガイドライン……安倍首相は、「海外で戦争する国」にするために、自衛隊を変質させてきました。それでも、表向きは9条2項の「制約の範囲内」といつてきました。

もし、憲法9条に自衛隊の存在理由を書いたり、「但し書き」をつければ……9条2項

は空文化し、海外での無制限の武力行使が可能となります。安倍改憲のねらいはここにあります。

改憲右翼団体の「日本会議」のシナリオに沿って

安倍首相と同じ提案をしている「日本会議」。ブレーンは、「9条2項を削除するか、あるいは自衛隊を明記した3項を加えて2項を空文化させる」（『明日への選択』2016年11月号）とあけすけに語っています。

二重の憲法違反です

内閣総理大臣に課された憲法の尊重・擁護の義務も投げ捨てる。行政府が立法府に不当に介入して「三権分立」を否定する。二重の憲法違反の発言です。しかも、オリン

ピック・パラリンピックさえ改憲の口実に。自らの野心のためには手段もえらばない、こんな異常なやり方は許されません。

野党と市民
の共闘で

安倍改憲STOP!

国民は憲法9条改憲を望んでいません。世論調査でも6割前後が変えるべきでないと答えています。「安倍政権のもとでの憲法改悪は許さない」で野党は一致しています。野党と市民が力を合わせ、改憲のたくらみにストップをかけましょう。

日本共産党

